



第4回 富山県



がんゲノム医療研修会

日時: 2018年11月22日(木曜日) 午後6時~

会場: 富山大学附属病院 総合臨床教育センター2階 多目的研修室

対象: 富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
その他がん診療に携わるすべての人

※当研修会は、医学系博士課程の医学特論の単位認定の一部となります

演題

ゲノム医療時代の がん診療

講師

札幌医科大学医学部 遺伝医学 教授

櫻井 晃洋 先生

がんの診断は長らく病理診断と画像診断がその中核をなし、今後もその重要性は変わらないが、近年ここにゲノム情報ががんの質的診断に(場合によっては量的診断にも)有用なツールとして医療実装がなされてきた。わが国でも

がんゲノム医療中核拠点病院体制が稼働し、またがん遺伝子パネルの先進医療も始まるなど、がんゲノム医療の急速な進展、個別化医療の実現が期待される。また、

がん組織のゲノム解析によって、これまで考えていた以上に、生殖細胞系列変異を背景に有する例が多いことも明らかになり、遺伝性と非遺伝性の区別も次第に曖昧になると考えられる。すべてが連続的に推移する中で、今後はゲノム情報に基づいた疾患概念の変遷も生じることが予想される。こうした現状と将来について、遺伝医療という立場に身を置く者として考えてみたい。



〈主催〉
〈後援〉
〈お問い合わせ先〉

富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
富山県がん診療連携協議会
富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)
〒930-0194 富山市杉谷 2630
TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112

事前申込不要
当日 直接
お越しください